

八溝山

毎日新聞旅行

24日

茨城県と栃木県と福島県の県境に位置している。頂上には八溝嶺神社があり、少し下には坂東三十三か所の二十一番目になる日輪寺がある。ちなみに坂東三十三個所の一番目は前回に行った鎌倉の杉本寺ということだ。かなり高いところまでバスが行ってくれるので、1022mの八溝山まで200mも登ればついてしまう。だから靴マークも1である。それでも男6名で女16名の満席である。やはり300名山ということが効いているのであろう。何年か振りでKザマさんと一緒になった。相変わらず孫の幼稚園への送り迎えがあるので土日しか山登りはできないということだ。何人孫がいるのだろう。山登りは年



間に何回しかしていないということであるが、その割には“バスの運転手の工藤さんは今何をやっている”など裏情報にはやたら詳しい。バスで隣り合わせたジーサマは、“山には興味ないが日輪寺に行きたいので来た。”などと言っていた。お寺の内部の写真を撮ろうとしたら“やめてください”と断られた。鎌倉ではそんなことなかったが、参拝者数の違いかもしれない。あちらの場合はいちいち断ってられないのであろう。



ツアーリーダーは傘寿も近いと思われる植草パパで、サブは歌うツアーリー

ダーの小室さんである。珍しくジイサマコンビだ。

バスを降りた日輪寺入り口の標高がすでに 820m であるので標高差は 200m ちょっとである。最初はいきなり少し降るので、実際の標高差はもう少しある。しかし緩い登りが続くのでやはり楽な山である。登りに要した時間も 1 時間以内であった。

山頂には一等三角点がある。景色はそれほど良くないのであるが、それでも一等三角点の役割を果たせたのかどうか疑問を感じず。昔は神社への参拝客も多かったらしく、古びた神社もあるし山頂直下まで舗装道路があり駐車場も広い。それに山頂には観光用の天守閣まである。以前は有料で展示品もあったようであるが、今は建屋だけでかつての面影もない。

降りには水戸光圀が定めたという名水 5 水というのを見ながら、わざわざ時間をかけて降ったが、こんなことでもしないとツアーとして成り立たないのであらう。今回の 22 名の客を引き付けたのは 300 名山の一つということに尽きるであらう。



八溝嶺神社



山頂天守閣